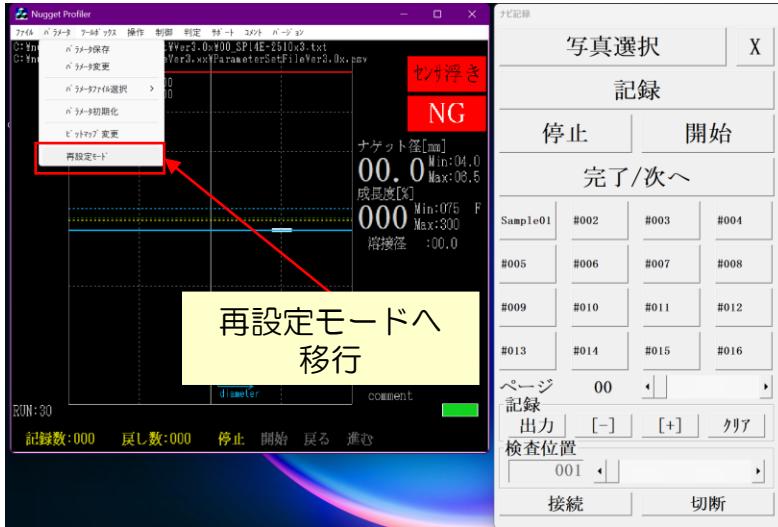


ナゲットプロファイラー 操作手順書

再設定モードの使用方法
(Ver.3.00+E型センサー)

作成日：2019年 6月 3日
更新日：2025年11月20日

再設定モードとは

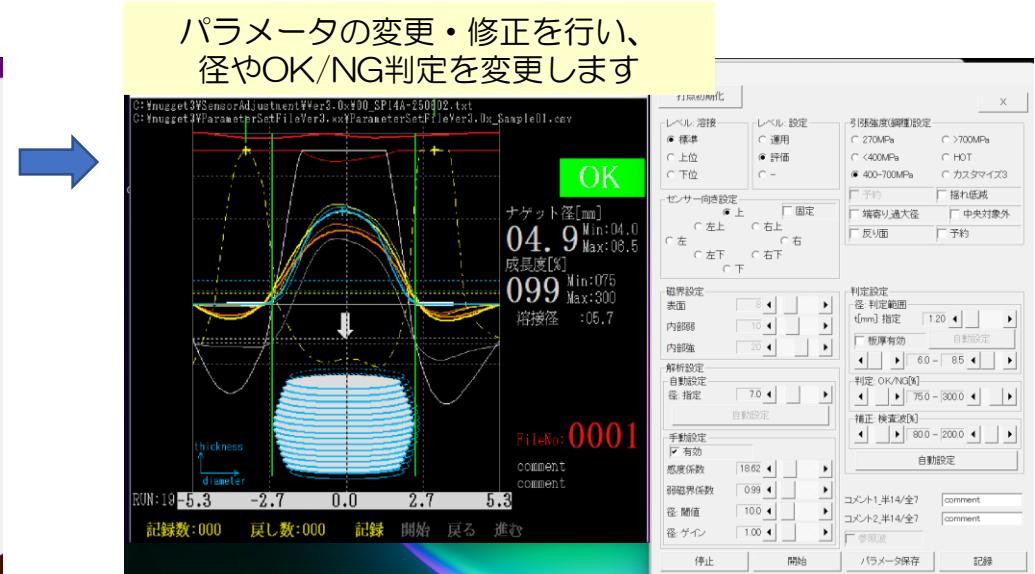
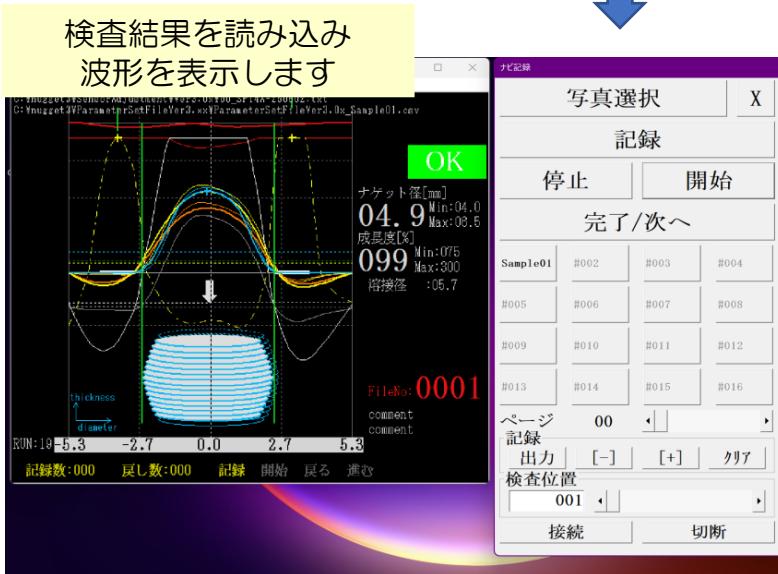


一度作成したパラメータファイルを変更/修正する場合は
再設定モードを使用します。

再設定モードに入ると、既存のパラメータファイルと
そのパラメータ作成時に記録された波形データを読み込み
画面に表示します。

パラメータを再設定する主なケースは以下のとおりです。

- OK/NGの判定基準を変更・追加したい場合
- パラメータ作成時に登録したナゲット径と破壊径が
大きく異なっていた場合



ナビモード設定までの操作

Step1.再設定モード・管理者モードへ移行する
使用ソフト：Nugget

Step2.パラメータファイルを変更する

Step3.パラメータファイル・検査データを保存する

Step4.Step2、3を繰り返す

Step5.写真に検査結果を再登録する
使用ソフト：BmplImage

ナビモード設定までの操作

Step1.再設定モード・管理者モードへ移行する
使用ソフト：Nugget

Step2.パラメータファイルを変更する

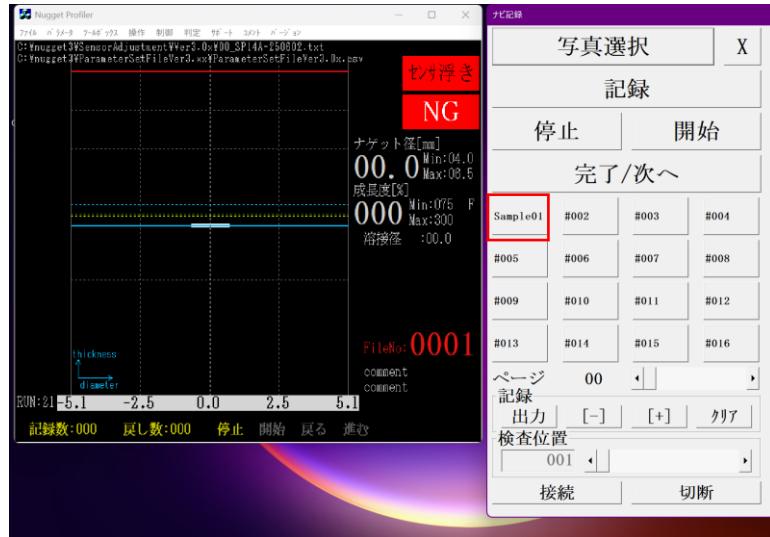
Step3.パラメータファイル・検査データを保存する

Step4.Step2、3を繰り返す

Step5.写真に検査結果を再登録する
使用ソフト：BmplImage

Step1.再設定モード・管理者モードへ移行する

Step1-1.再設定モードへ移行する



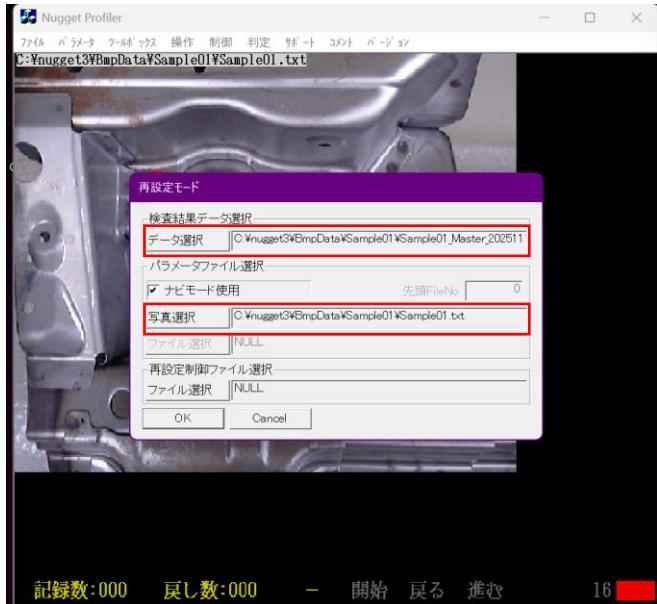
1. Nuggetを起動し、「ナビ記録」ダイアログからパラメータを変更したいパートを登録したボタンを選択します。



2. ナビモードの写真が表示されます。

3. 画面左上「パラメータ」→「再設定モード」をクリックします。

Step1-1.再設定モードへ移行する（つづき）



4. 「再設定モード」ダイアログが起動します。
画面には以下の情報が自動入力されています。

- ・データ選択：パラメータ作成時の波形データ
 - ・写真選択：使用した写真ファイルへのリンク

5. 「データ選択」欄がNULLの場合は、
「データ選択」ボタンをクリックしてください。

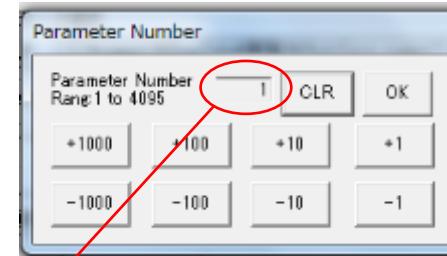
するとC:\nugget3\Data フォルダが開きますので、その中から、パラメータ作成時のデータ またはナビモードを用いて検査した際のデータを選択してください。

ナビモードを用いずに再設定する場合

5.1. 「ナビモード使用」の□を外します。

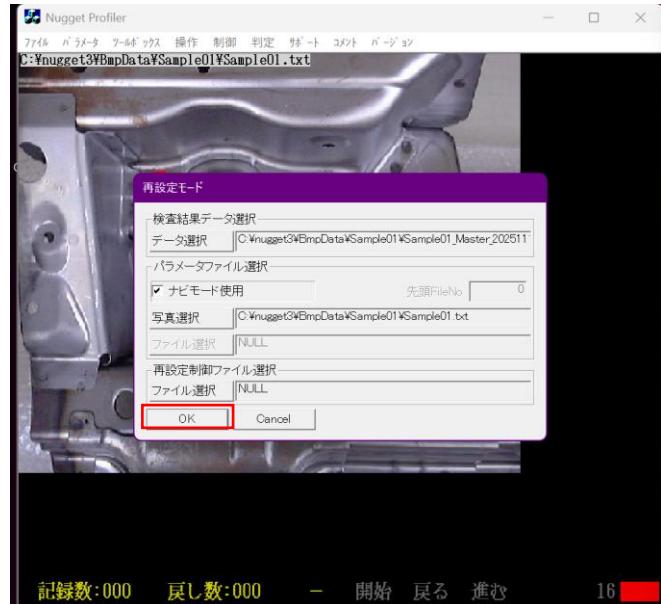
5.2. 「ファイル選択」をクリックし、
変更するパラメータファイルを
選択します。

5.3. 「Parameter Number」 ダイアログに変更する パラメータ列を入力します。



	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	Parameter	251								
2	ハラメーク番号	コンクト1(全角コント2(全角ホールド)機 AS 設定_従 AS:判定_従 AS:判定_従 AS:設定_渡 AS:判定_渡 AS:判定_渡								
3	0 default	default	0	4.5	6.5	3.5	0	150	75	
4	1 試験片A	打点1	0	4.2	6.5	3.5	0	150	75	
5	2 試験片A	打点2	0	4.2	6.5	3.5	0	150	75	
6	3 試験片A	打点3	0	4.2	6.5	3.5	0	150	75	
7	4 comment	comment	0	4.5	6.5	3.5	0	150	75	
8	5 comment	comment	0	4.5	6.5	3.5	0	150	75	
9	6 comment	comment	0	4.5	6.5	3.5	0	150	75	
10	7 comment	comment	0	4.5	6.5	3.5	0	150	75	
11	8 comment	comment	0	4.5	6.5	3.5	0	150	75	

Step1-1.再設定モードへ移行する（つづき）

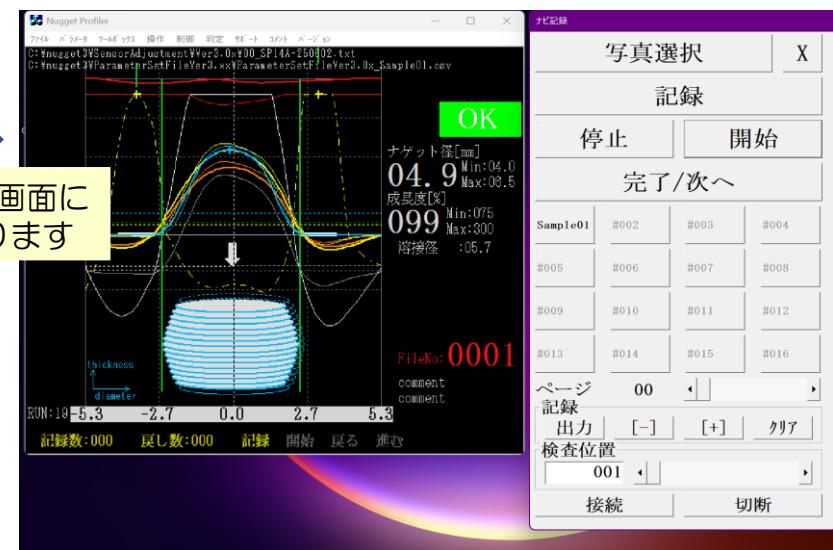


6. 「OK」をクリックすると、4で選択したパラメータファイル・過去の検査データが読み込まれます。

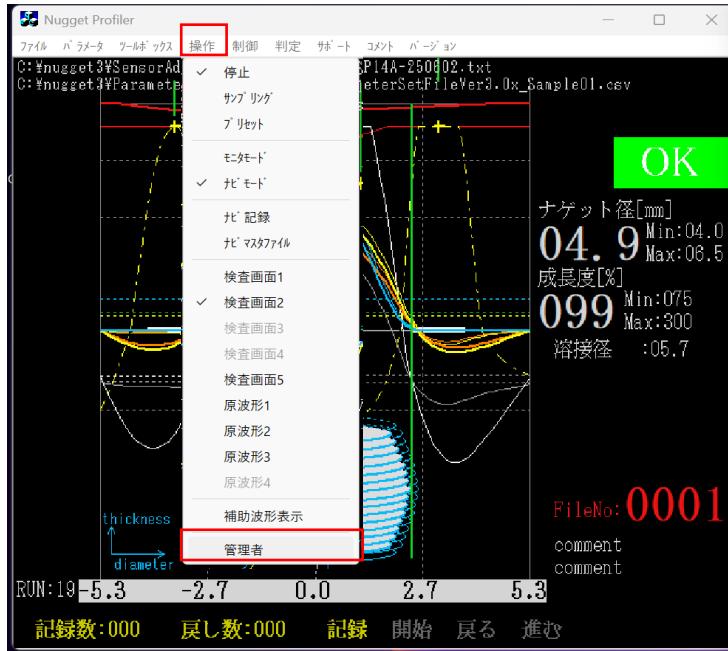
7. 「ナビ記録」ダイアログ内の「画面移行」をクリックすると過去の検査データ波形が表示されます。



検査波形の画面に
切り替わります

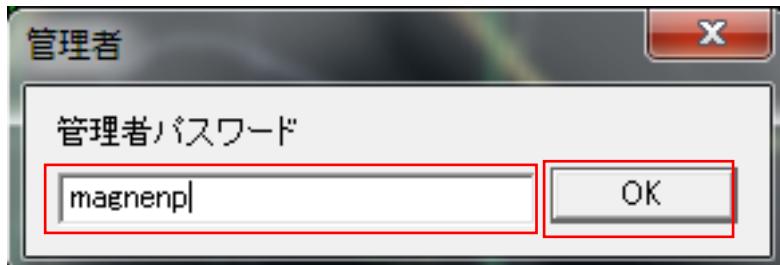


Step1-2.管理者モードへ移行する



1.画面上「操作」→「管理者」をクリックします。

2.「管理者」ダイアログが立ち上がります。



3.パスワード：「magnenp」を入力し、「OK」をクリックします。

4.「パスワードが一致しました。
管理者モードに移行します。」
のメッセージが出るので「OK」をクリックします。

ナビモード設定までの操作

Step1.再設定モード・管理者モードへ移行する
使用ソフト：Nugget

Step2.パラメータファイルを変更する

Step3.パラメータファイル・検査データを保存する

Step4.Step2、3を繰り返す

Step5.写真に検査結果を再登録する
使用ソフト：BmplImage

Step2.パラメータファイルを変更する

Step2-1.判定基準を変更する

1.画面左上「判定」をクリックします。



2.「判定」ダイアログが立ち上がります。

ボックスに☑が入っている判定が有効になります。
OK判定の上限と下限を入力してください。

下記5項目でOK/NG判別を行うことができます。

1. 「ナゲット径（青波:ナゲット）」
2. 「ナゲット径規格外（青波:ナゲット）」
3. 「N面積（青波:ナゲット）」
4. 「溶接径（黄波:強磁界）」
5. 「N中チリ（青波:ナゲット）」

「補正」の項目を用いることで検査波形に補正をかけ、
OK/NGをはっきり判別できるようにします。



Step2-1.判定基準を変更する(つづき)

- ・ナゲット径 (青波:ナゲット)
ナゲット径 (青色波形の径) を用いてOK/NG判定を行います。
- ・ナゲット径規格外 (青波:ナゲット)
ナゲット径のWarningOKの範囲を指定します。画面には黄色でOK表示されます。
- ・N面積 (青波:ナゲット)
青色波形の面積 (溶接の溶け込み具合) を用いてOK/NG判定を行います。
- ・溶接径 (黄波:強磁界)
溶接径 (黄色波形の径) を用いてOK/NG判定を行います。
- ・N中チリ (青波:ナゲット)
中チリ (溶融金属が外に飛び出す) の判定を行います。
波形の歪さから推測します。



・補正

S:波高 (黄波:強磁界)

黄色波形の波の高さを用いて補正をかけます。

S:面積 (黄波:強磁界)

黄色波形の面積を用いて補正をかけます。

以下 (Gの項目) は特性値と呼ばれる項目を用いて補正を行います。
NPは磁気抵抗の他に様々な磁気情報(特性値)を算出しています。
その特性値の中で有用な項目を用いて補正をかけます。

G:小径

NG品 (径が小さいもの) に有用な可能性がある項目です。

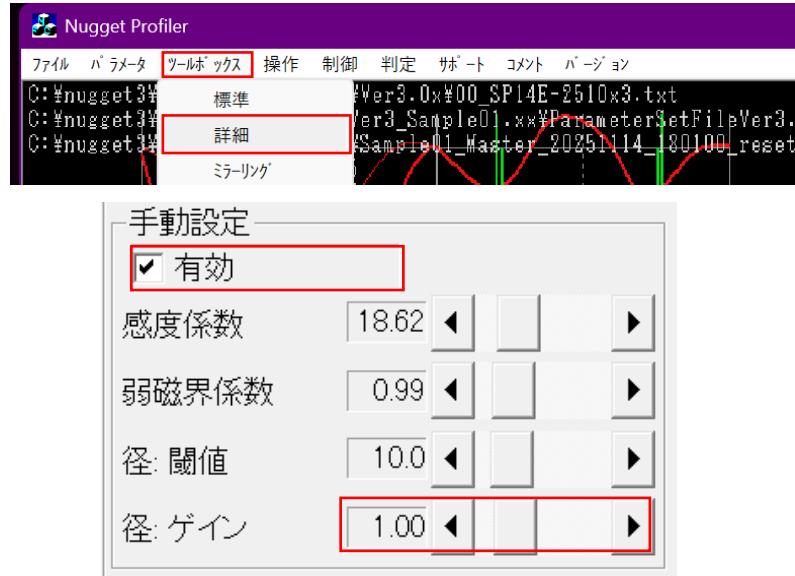
G:母材

母材に有用な可能性がある項目です。

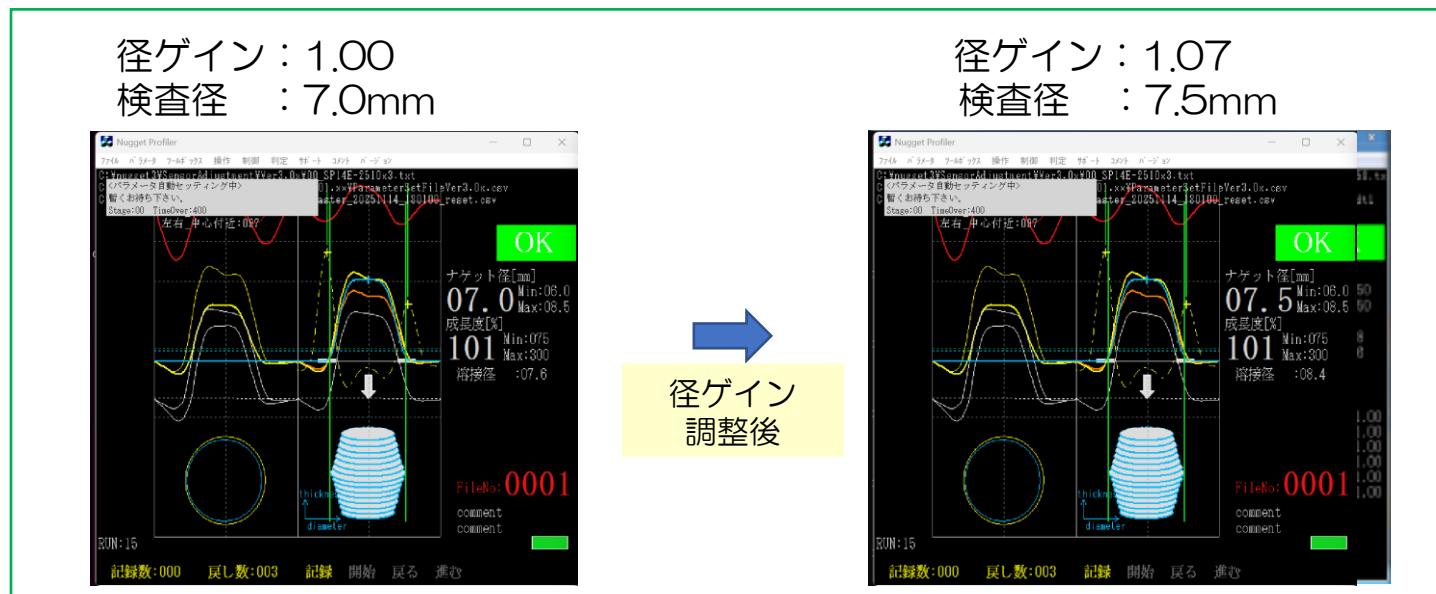
G:特性値1、特性値2

メーカー側で解析・指定した項目です。

Step2-2.検査径を変更する



例



1.画面左上「ツールボックス」の「詳細」をクリックします。

2.ツールボックス内「手動設定」の「有効」に☑を付けます。

3.「径:ゲイン」変更し、検査径を調整します。
他項目は基本的に変更しません。

4. ツールボックス内「手動設定」の「有効」の☑を外します。

ナビモード設定までの操作

Step1.再設定モード・管理者モードへ移行する
使用ソフト：Nugget

Step2.パラメータファイルを変更する

Step3.パラメータファイル・検査データを保存する

Step4.Step2、3を繰り返す

Step5.写真に検査結果を再登録する
使用ソフト：BmplImage

Step3.パラメータファイル・検査データを保存する

Step3-1.パラメータファイルを保存する



1.ツールボックス右下「パラメータ保存」をクリックし、パラメータファイルを上書き保存します。

Step3-2.検査データを保存する



2.ツールボックス右下「記録」をクリックし、検査データを保存します。

ナビモード設定までの操作

Step1.再設定モード・管理者モードへ移行する
使用ソフト：Nugget

Step2.パラメータファイルを変更する

Step3.パラメータファイル・検査データを保存する

Step4.Step2、3を繰り返す

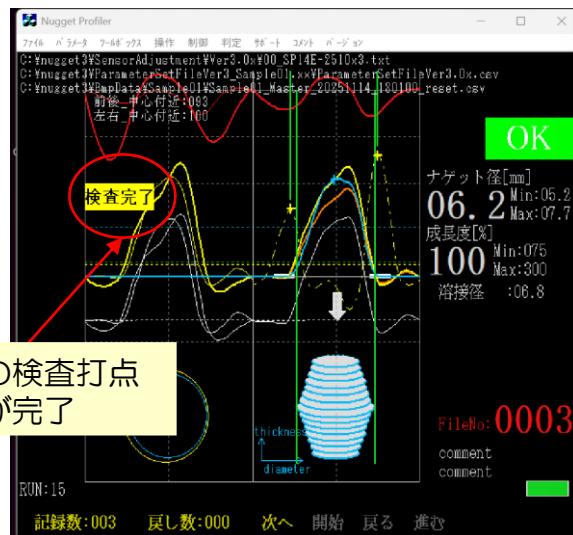
Step5.写真に検査結果を再登録する
使用ソフト：BmplImage

Step4. Step2、3を繰り返す



1.画面が次の検査打点写真に移行します。

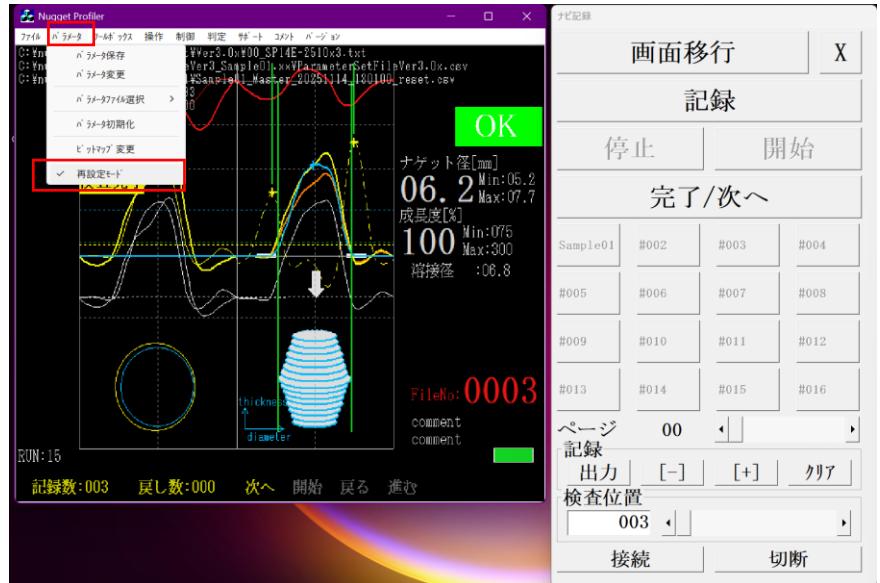
2.「ナビ記録」ダイアログ内の「画面移行」をクリックし、波形画面に移行します。



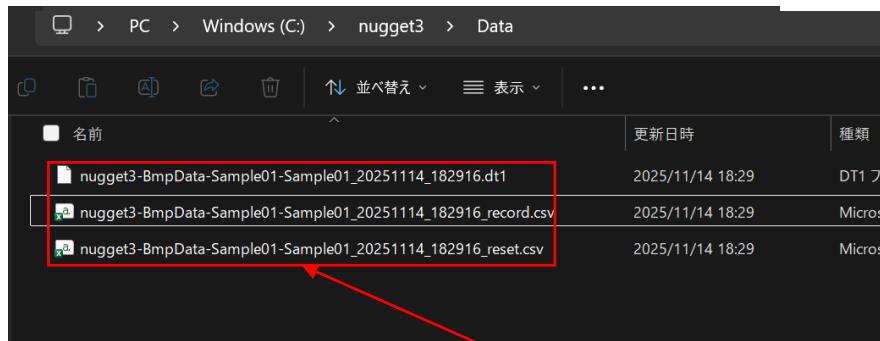
3.最終打点までStep2、3を繰り返します。

4.最終打点の検査データの保存を行うと画面に「検査完了」が表示されます。

Step4. Step2、3を繰り返す（つづき）



5.画面左上「パラメータ」→「再設定モード」をクリックし、再設定モードを終了します。



「.dt1」 「record.csv」 「reset.csv」
の3種類が保存されます

6. C:\nugget3\Data フォルダ内に検査データが保存されます。

ナビモード設定までの操作

Step1.再設定モード・管理者モードへ移行する
使用ソフト：Nugget

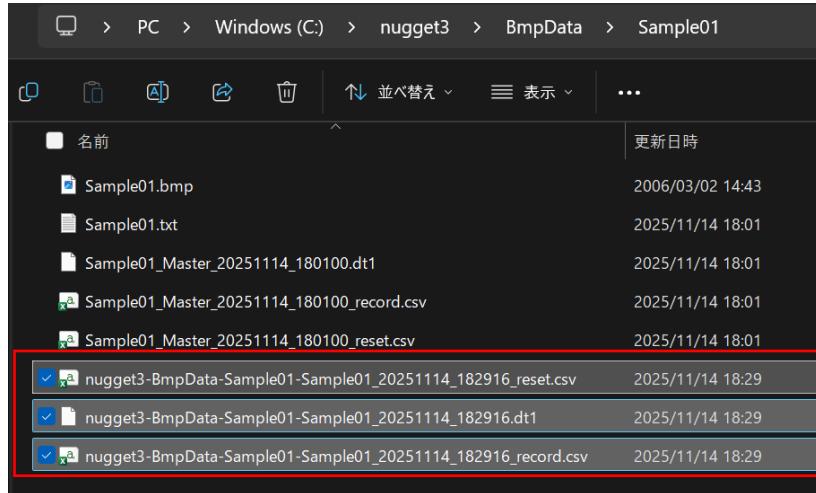
Step2.パラメータファイルを変更する

Step3.パラメータファイル・検査データを保存する

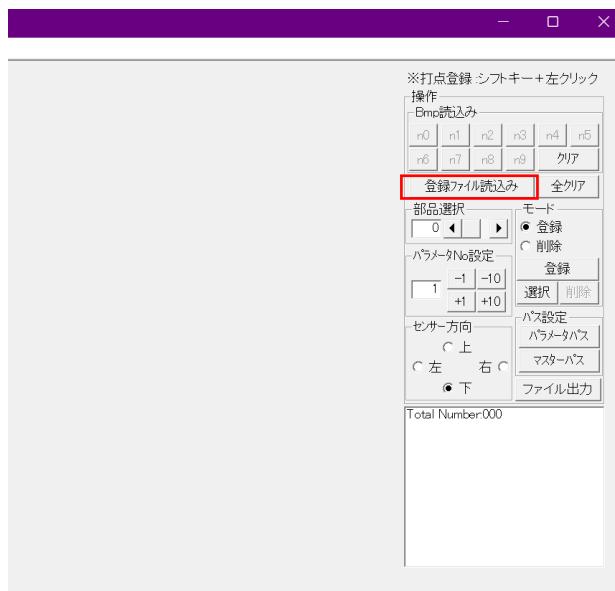
Step4.Step2、3を繰り返す

Step5.写真に検査結果を再登録する
使用ソフト：BmplImage

Step5.写真に検査結果を再登録する



1. Step4-6で保存した検査データを
C:\nugget3\BmpDataフォルダ内の
写真の名称のフォルダ内に移動させます。

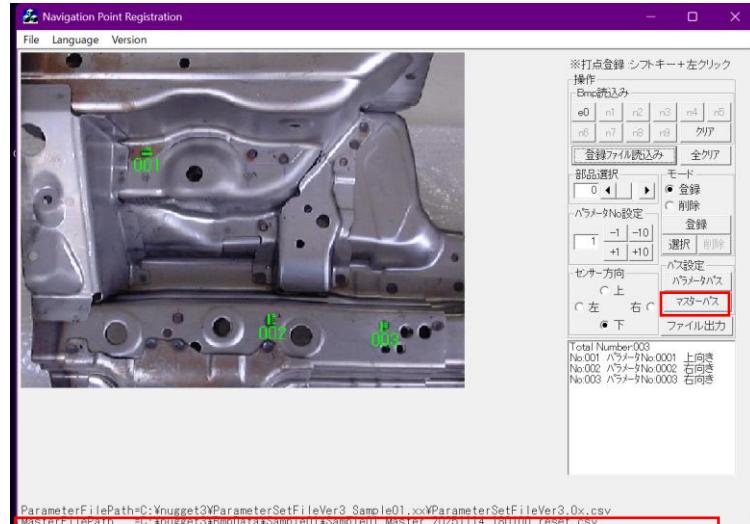


2. デスクトップにある
「BmpImage.exe-ショートカット」
をクリックし、打点登録ソフトを起動します。

3. 「ファイル読み込み」→「打点」を
クリックします。

Step5.写真に検査結果を再登録する(つづき)

4.写真の名称フォルダ内のtxtデータを選択します。



5.検査打点の写真が表示されます。

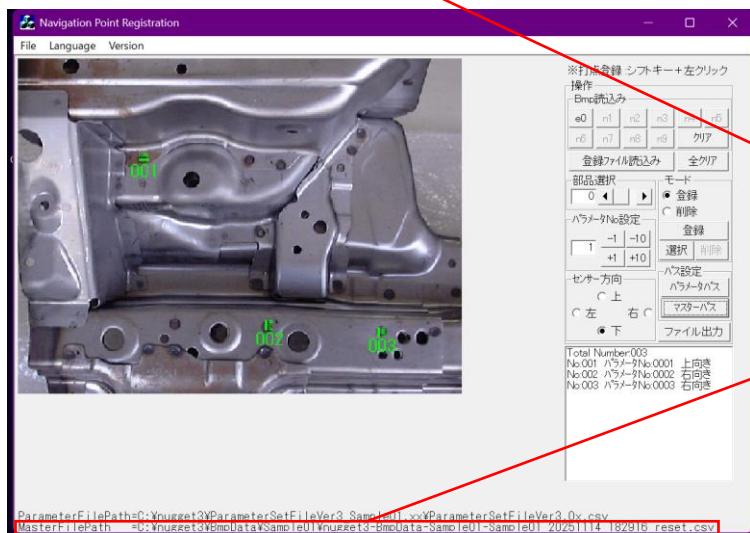
「パス設定」→「マスターパス」をクリックします。

6.Step5-1で移動したreset.csvデータを選択します。

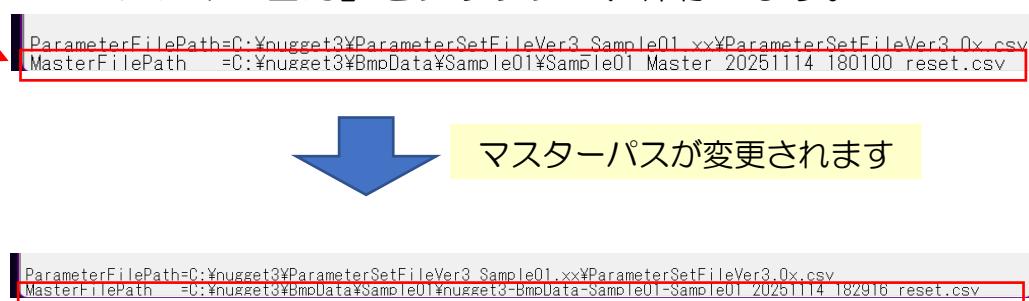
(.dt1データ、reset.csvデータのどちらを選択しても問題ありませんが、reset.csvデータの方が時間平均回数が少なく、より精度の高いデータになります。)

7.新しいマスターパスが登録されます。

「ファイル出力」をクリックし、保存します。



マスターパスが変更されます



操作は以上で完了です。

EOF